

固定資産評価審査申出書



(あて先)
飛驒市固定資産
評価審査委員会

審 査 人 ※ 自 署	住 所 (所在地)	飛驒市〇〇町〇〇〇〇番地 TEL〇〇-〇〇〇〇
	(ふりがな) 氏 名 (名 称)	飛 驒 太 郎
	住 所 (所在地)	TEL
	(ふりがな) 氏 名 (名 称)	土地、家屋等の納税義務者が 多人数で、共同して申出する場合に 二段目、三段目に記入してください
	住 所 (所在地)	TEL
	(ふりがな) 氏 名 (名 称)	

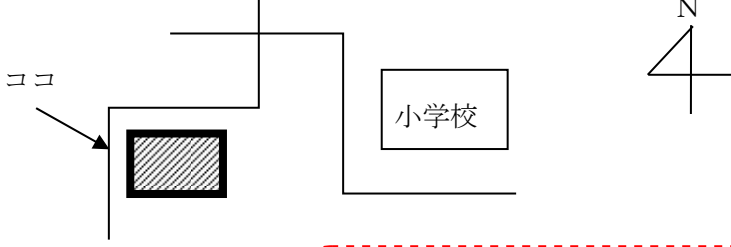
下記について地方税法
第432条及び飛驒市固定資産
評価審査委員会条例第4
条の規定により審査の申
出をします。

提出年月日必ず記入してください
〇〇年〇〇月〇〇日提出

代 表 者 又 は 管 理 人	法人でない社団又は財団で、管理人の定めのある場合は 代表者又は管理人をこの欄に記入してください (相続代表者又は納税管理人の記入はしない)
--------------------------	---

総 代 又 は 代 理 人	2人以上で共同して申出をされた場合は総代を互選する ことができます。この場合、この欄に総代を記入してく ださい。弁護士又は税理士等代理人を定める場合は代理 人を記入してください。
------------------------	--

台帳登録所有者	住 所 (所在地)	飛驒市〇〇町〇〇〇〇番地						
	氏 名 (名 称)	飛 驒 太 郎						
	代表者又は 管理人の氏名							
課税台帳 登録事項	物件種別	所在地	地目又は構造		地積又は 床面積(m ²)		台帳価格 (円)	家屋 番号
	土地	〇〇町〇〇〇〇番地	宅地	宅地	〇m ²	〇m ²	〇〇〇,〇〇〇	
	課税台帳と一致させてください。課税明細書をみて記入してください。							
償却資産 の場合	資 産 の 種 類				帳簿価格 (円)	評価額 (円)	決定価格 (円)	

申出の理由	理由が書ききれない場合は、別紙「申出の理由」による とし、別紙を添付してください。 記入例 別紙「申出の理由」による
	記入例①
	本件土地は、〇〇〇〇〇〇なので、標準額価格を〇%減額して欲しい。
申出の趣旨	記入例① 固定資産税台帳に登録された本件土地の評価額を □□, □□□円に修正することを求める。
物件所在図	記入例：（土地の所在する場所を、目標になるものを示して書いてください。） 
添付書類名	記入例：納税通知書の写し 課税明細書の写し 鑑定評価の写し 写真、写真の説明 など (申出書に添付された場合にご記入ください) <div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; margin-top: 10px;">口頭で意見を述べる機会を求める場合は、「要」に○をしてください。 口頭で意見をのべる機会を求めない場合は、「不要」に○をしてください。 必ずどちらかに○を付けてください。</div>
無 及 び 内 容 の 有	無 どちらか該当に○をしてください 有 「この通知書の基礎となった 固定資産の価格 に不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に、 飛騨市固定資産評価審査委員会 に対して審査の申出をすることができます。」との教示がありました。
意見陳述の手続	
要 ・ 不要	
記載要領	納税通知書受取年月日 年 月 日
<ol style="list-style-type: none"> 1 審査申出人は、その固定資産の納税義務者です。代表者又は管理人、総代又は代理人 が申出する場合はその資格を証明する書面を添付してください。 2 課税台帳登録事項は、課税台帳と一致させてください。 3 申出の理由欄は、審査の申出を支持し、その理由があるとする法律上、事実上の根拠 を記入してください。 4 申出の趣旨欄は、審査委員会に対して決定を求めるべき結論を記入してください。な お、申出人が最も妥当と思う価格をあわせて記入してください。 5 <u>意見陳述の手続欄は、必ずどちらかに○印を付けてください。なお、意見陳述を行う 場合は、委員会が指定する日時に委員会に出席していただくことになります。</u> 6 審査の参考資料などを添付された場合は、添付書類名欄に記入してください。 	
納税通知書受取年月日を記載してください。	